

令和3（2021）年度事業報告
〔令和3年4月1日～令和4年3月31日〕

I 主要業務日程

令和3年

- | | |
|--------|-------------------------|
| 4月14日 | 監事監査（協会事務所） |
| 4月15日 | 第1回理事会（書面決議方式） |
| ～28日 | |
| 6月3日 | 通常総会（アルカディア市ヶ谷） |
| 6月7日 | 専門委員長打合せ会議（協会事務所） |
| 6月23日 | 四者会議（協会事務所） |
| 7月2日 | 第2回理事会（アルカディア市ヶ谷） |
| 8月24日 | 科目別出題調整検討会（協会事務所） |
| ～9月7日 | |
| 9月18日 | 3科目出題調整検討会（協会事務所） |
| 9月25日 | 専門委員会〔出題調整分科会〕（協会事務所） |
| 11月17日 | 専門委員会〔養成機関認定分科会〕（協会事務所） |
| 12月14日 | 四者会議（協会事務所） |
| 12月19日 | フードスペシャリスト資格認定試験 |

令和4年

- | | |
|-------|---------------------|
| 1月7日 | 四者会議（ズーム会議） |
| 1月14日 | 専門委員会（アルカディア市ヶ谷） |
| 1月25日 | 専門委員会〔研修分科会〕（ズーム会議） |
| 2月4日 | 第3回理事会（アルカディア市ヶ谷） |

II 事業内容

1 教育内容の企画、指導及び助言に関する事業

(1) フードスペシャリスト養成の充実に向けた検討

新たなフードスペシャリスト資格制度の周知を図るため、新たに食品関連企業就業者向けの専門フードスペシャリスト資格認定試験に関するパンフレットを作成し、フードスペシャリスト資格認定試験に関するパンフレット及び実際の試験問題と併せ、食品関連企業（337社）の人事・採用担当者に送付した。

(2) 協会指定テキストの改訂

協会指定テキストについては、「食品の安全性」及び「フードスペシャリスト論」の一部修正等を行った。

2 資格認定試験に関する事業

(1) 令和3（2021）年度フードスペシャリスト資格認定試験の実施

令和3（2021）年度フードスペシャリスト資格認定試験を令和3年12月19日（日）に全国129校で実施し、延べ4,728人が受験した。その後、合否判定の結果、延べ3,597人が合格した。各資格認定試験の種類別の受験状況は以下のとおりであった。

また、フードスペシャリスト養成機関を既に卒業した受験希望者に対しては、受験申請書を協会が直接受け付け、出身校以外での受験を含め協会が受験校をあっせんした。

	受験者数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)
フードスペシャリスト資格認定試験	3,961	3,463	87.4
専門フードスペシャリスト (食品開発)資格認定試験 ※1	506	80	15.8
専門フードスペシャリスト (食品流通・サービス)資格認定試験	261	54	20.7

※1 各数値には就業者を含む

なお、就業者向け資格認定試験を全国試験と同日に実施した（参考1を参照）。

(2) フードスペシャリスト資格認定証の交付等

フードスペシャリスト資格認定試験の合格者のうち養成機関の卒業生に対し、申請に基づき資格認定証を交付した。なお、分野合格者についても申請に基づき資格認定証を交付した（参考2を参照）。

また、フードスペシャリスト資格を優秀な成績で取得した方に対し、会

員校の推薦に基づき会長表彰を行うとともに、各資格認定試験の上位合格者に対し、専門委員会の推薦に基づき特別表彰を行った。

3 養成機関の認定に関する事業

専門委員会（養成機関認定分科会）における審査報告を踏まえ、理事会での審議の結果、次の1校1学科を新たにフードスペシャリスト養成機関として認定した。

- ・新渡戸文化短期大学
 - 所在地 東京都
 - 学 科 食物栄養学科（80名）
 - 適用年次 1年次

4 助成、研究、研修等に関する事業

（1）食に関する一般向け啓発事業

名誉フードスペシャリストの活動と連携する形で行われる広く国民一般を対象とした食に関する啓発活動推進事業については、新型コロナウイルス感染症による影響がある中、4団体（聖徳大学、函館短期大学、愛国学園短期大学、日本女子大学）から応募があり、審査会による審査の結果、これらの4事業を採択し、その取組に対して支援を行った（参考3を参照）。

（2）研究・調査等

複数の養成機関の担当教員からの要請を踏まえ、令和3年7月から9月にかけて、各養成機関の協力の下、フードスペシャリストの資格取得者の就職先についての実態調査を行った。

具体的には、調査対象年度を平成30（2018）年度から令和2（2020）年度の3年度分とし、フードスペシャリストの資格取得者の男女別に、就職先の産業の業態別種類と就職先の企業名の把握を行った。

この調査結果については、ホームページに掲載するとともに、学生の就職活動に向けたアドバイスの参考資料として新たに作成した「学生向け就職面接用想定問答集」と併せて、各養成機関に送付・周知した。

（3）研修会の開催

新型コロナウイルス感染症による影響により、研修会を開催することはできなかった。

5 情報の収集及び提供に関する事業

(1) 会報の発行及び配布

協会の会報「JAFS NEWS LETTER」(No.62)を令和4年2月に発行し、会員、関係機関等に配布するとともに、ホームページに掲載した。

(2) 広報活動

ア. 令和3(2021)年度名誉フードスペシャリストとして、17名(参考4を参照)の方々を表彰するとともに、協会のホームページに新たに「名誉フードスペシャリスト」のコーナーを設け、名誉フードスペシャリストの方々のプロフィール等を掲載した。

イ. 協会のホームページに新たに「専門フードスペシャリストになるには」及び「食品関連企業にお勤めの方に」のコーナーを設け、新たなフードスペシャリスト資格制度の明確化を図った。

ウ. フードスペシャリストの養成機関でない130の管理栄養士及び栄養士養成施設に対し、フードスペシャリスト資格認定試験に関するパンフレット等の関係書類を送付し、フードスペシャリストの養成機関となることについての掘り起し活動を行った。

エ. 各養成機関からの紹介を踏まえ、日本食糧新聞社の協力の下、フードスペシャリスト資格を取得して食品関連企業で活躍されている方々取材し、その記事を日本食糧新聞紙上やホームページ等を通じて紹介した。

オ. フードスペシャリスト資格の企画記事広告を、「全私学新聞」(全私学新聞運営委員会)に1回、資格紹介のPR広告を「日本食生活学会誌」に1回、「全栄施協月報」(全国栄養士養成施設協会)に12回、それぞれ掲載した。

(3) フードスペシャリスト資格認定試験過去問題集の発行

「フードスペシャリスト資格認定試験過去問題集」を本年2月25日に発行した。

(4) 養成機関への資料提供

フードスペシャリスト養成機関に対し、関係機関から提供された各種資料を紹介した。

(参考1)

就業者向け資格試験の結果について

(1) 試験結果の概要

①専門フードスペシャリスト（食品開発）資格認定試験

	2018年	2019年	2020年	2021年
申請企業数	4	5	3	5
受験者数（人）	14	12	4	14
合格者数（人）	5	5	2	6
合格率	36%	40%	50%	40%

②専門フードスペシャリスト（食品流通・サービス）資格認定試験

	2018年	2019年	2020年	2021年
申請企業数	2	2	1	0
受験者数（人）	3	2	1	0
合格者数（人）	0	1	0	0
合格率	—	50%	—	—

(2) 参加企業

2018年：(株) ウエノフードテクノ、ケンコーマヨネーズ (株)、
日清食品ホールディングス (株)、農と食女性協会、山崎製パン (株)

2019年：池田食研(株)、(株) 栄養セントラルジャパン、ダンフーズ(株)、
ケンコーマヨネーズ (株)、日清食品ホールディングス (株)、
山崎製パン (株)

2020年：ケンコーマヨネーズ (株)、株式会社TUSダイニング、
鉄茂器工 (株)、山崎製パン (株)

2021年：ケンコーマヨネーズ (株)、日清食品ホールディングス (株)
日東アリマン (株)、(株) Mizkan Jplus Holdings、
山崎製パン (株)、ダンフーズ (株)

(参考2)

令和3（2021）年度専門F S資格認定試験における分野合格者について

（1）分野合格の仕組み

令和元（2019）年度から、専門フードスペシャリスト資格試験については、今年度及び昨年度における共通科目と専門選択科目の試験結果を踏まえて合格を判定する方法を追加している。

この分野合格の仕組みにおいて、専門フードスペシャリスト資格試験に合格したと判定されるのは、以下の3ケースである。

- ① 今年度（2年目）に共通科目と専門選択科目の総得点で合格ライン（72点以上）の得点を獲得した場合
- ② 昨年度に共通科目が合格ライン（36点以上）の得点を獲得して不合格とされたものの、今年度の専門選択科目において合格ライン（36点以上）の得点を獲得した場合（合わせ技合格）
- ③ 昨年度に専門選択科目が合格ライン（36点以上）の得点を獲得して不合格とされたものの、今年度の共通科目において合格ライン（36点以上）の得点を獲得した場合（合わせ技合格）

（2）分野合格の結果

	受験者数	合格者数	
		総得点で合格	合わせ技合格
専門フードスペシャリスト （食品開発）	21	6	3
専門フードスペシャリスト （食品流通・サービス）	19	6	1

専門フードスペシャリスト（食品開発）においては、21名から受験の申し込みがあり、このうち総得点で合格した者は6名、合わせ技合格の者は3名である。また、専門フードスペシャリスト（食品流通・サービス）においては、19名から受験の申し込みがあり、このうち総得点で合格した者は6名、合わせ技合格の者は1名である。

(注) 分野合格の候補者数

専門フードスペシャリスト資格試験（食品開発）

	候補者数	共通科目	専門選択科目
令和3（2021）年度	70	52	18
令和2（2020）年度	75	22	53

専門フードスペシャリスト資格試験（食品流通・サービス）

	候補者数	共通科目	専門選択科目
令和3（2021）年度	44	13	31
令和2（2020）年度	65	5	60

(参考3)

令和3(2021)年度啓発活動推進事業の実施概要

(事業実施順)

団体名	事業の名称と概要
函館短期大学	<p>【名称】 高校生のための食育(しょ・く・い・く)講座「い」の回</p> <p>【概要】 名誉フードスペシャリストの澤辺桃子教授が事業の企画・運営を行い、地元の高校生(約20名)と本学学生及び教職員が、一緒に郷土料理(いかめし)に関する知識と調理技術について学習する。</p>
聖徳大学	<p>【名称】 聖徳大学“食”に関する講演会</p> <p>【概要】 名誉フードスペシャリストの佐々木弘子教授が司会・進行を行い、日本フードスペシャリスト協会及び名誉フードスペシャリストの紹介等を行うとともに、北澤裕昭講師により「農産物の包装から考えるSDGsが目指す社会における包装の役割」についての講演を行う。講演会の対象者は、松戸市及び周辺地域の一般の方々並びに学生。</p>
愛国学園短期大学	<p>【名称】 咀嚼・嚥下困難な方への美味しい食事計画</p> <p>【概要】 名誉フードスペシャリストの大越ひろ日本女子大学名誉教授を招聘し、「咀嚼・嚥下困難な方への美味しい食事計画」についての講演を行う。講演会の対象者は、江戸川区の後援により公募した地域住民の方々、関連校の学生・教職員等。</p>
日本女子大学	<p>【名称】 食と健康とSDGs</p> <p>【概要】 学生主体で行われる、食と健康及びSDGsをテーマとする学生の意識・実態調査結果の発表、日本や各国の取組の紹介、身近でかつ健康増進・SDGsの方針に沿った食事の提供について、名誉フードスペシャリストの飯田文子教授が講評・講話を行う。対象者は、学園祭の一般来場者。</p>

(参考4)

令和3（2021）年度 名誉フードスペシャリスト

- 1 青山 佐喜子 大阪夕陽丘学園短期大学 名誉教授
- 2 秋田 修 実践女子大学 名誉教授
- 3 飯田 文子 日本女子大学 教授
- 4 小口 悦子 東京家政学院大学 名誉教授
- 5 木島 実 日本大学 元教授
- 6 佐々木 弘子 聖徳大学 教授
- 7 高野 克己 東京農業大学 名誉教授
- 8 高橋 ユリア 大妻女子大学短期大学部 教授
- 9 西田 毅 ケンコーマヨネーズ株式会社 野菜・サラダ研究所部長
- 10 西村 公雄 同志社女子大学 特任教授
- 11 長谷川 弓子 聖徳大学短期大学部 准教授
- 12 平尾 和子 愛国学園短期大学 学長
- 13 細川 裕子 目白大学短期大学部 教授
- 14 前川 隆嗣 マエカワテイスト株式会社 代表取締役社長
- 15 宮下 朋子 会津大学短期大学部 教授
- 16 村田 吉弘 料亭「菊乃井」三代目主人
- 17 山口 浩 神戸北野ホテル総支配人・総料理長